

# 《メッセージ》

国際連合

潘基文国連事務総長  
ウェーサクの日のメッセージ  
2010年5月



仏陀の誕生・覚醒・涅槃を記念するウェーサクの日にあたりご挨拶ができることを心より喜んでおります。ウェーサクは、仏陀の生涯と教えの中に体现されている寛容、慈悲、人々への奉仕という根本的な価値について、すべての仏教徒が深く考える時であります。これらの価値は、国連憲章にも反映されており、人々が平和で尊厳をもって繁栄し、栄えることができる世界を目指して加盟各国が共同で取り組んでいくことが憲章の中に謳われています。

今年度のテーマ「地球の回復：仏教徒の展望」は、様々な危機が起こっているこの今という時期の全世界の関心の核心を突いています。経済、財政的危機が起こった時、最初にそして最もひどい打撃をこうむったのは貧乏な人々でした。その人たちが、回復にも一番長い時間を必要とすることでしょう。このような時にあたり、私は世界の指導者たちに、一致団結して共通の利益に向かって行動するように促しました。彼らがすぐに時宜を逸することなく反応し、国連が努力した結果、危機が悪化するのを何とか避けることができました。いくつもの貴重な教訓をそれにより学びましたが、それらの教訓は、いまだにその影響が続いている今、私たちがどのように反応すべきかを教えております。

このように一致団結していくということは、相互の依存性が高まっている今日の世界においては、ますます必要不可欠なものとなっております。ウェーサクの日には、このような団結した行動が行なわれており、このお祝いの一部として、より恵まれない人々に対する慈悲に基づいた活動が毎年行なわれています。他の人々に対して関心を示してはじめて、貧困と飢餓を減らす、環境悪化を食い止めその流れを逆転させる、破滅的な気候変動を回避する、全ての人にとって自由で平和で公正な世界を作る、という私たちの時代が抱えている大きなチャレンジに取り組むことに成功することができます。もし私たちが仏教の真の精神に従うなら、もしくは世界の他のどのような主要な宗教でも良いのですが、その宗教の真の精神に従うなら、これらの気高い目標の全てを達成することができるのです。